

1. 科目名 (単位数)	司法・犯罪心理学／犯罪心理学 (2単位)	3. 科目番号	PSMP3359								
2. 授業担当教員	久保 貴	5. 開講学期	春期								
4. 授業形態	講義、集団討議、グループ研究・同結果のプレゼンテーション、学生との応答。										
6. 履修条件・他科目との関係	心理学入門／心理学概論などの心理学の基礎的な知識、及び統計学に関する基礎的な知識を有していることが望ましい。										
7. 講義概要	心理学の立場に依拠しつつ、犯罪や非行の原因を生物学的要因、心理学的要因、社会学的要因などから探る。生物学的要因として主にロンブローゾの学説やホルモン・神経伝達物質、条件付けとの関連等について理解し、心理学的要因としては行為障害や人格（パーソナリティ）障害、セルフコントロールとの関連等について理解する。社会学的要因としてはアノミー論や分化的接触理論、社会的絆理論、ラベリング理論、競争の激化に伴う格差社会の進展やマスコミ報道が及ぼす影響等について考察する。また、具体的犯罪内容については、暴力犯罪、性犯罪、DV・ストーキング・虐待、窃盗・強盗・放火などの類型に分けて理解する。さらに、犯罪捜査や防犯、犯罪者や非行少年の矯正・保護といった処遇システムについても、心理学のみならず、社会学、司法、精神医学などの立場からの理解を深めながら、犯罪心理学という学問あるいは心理職がどのような役割を果たせるのか、その可能性について考察する。										
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 犯罪や非行の原因を生物学的要因、心理学的要因、社会学的要因などから説明することができるようになる。 2 犯罪の動機・原因を犯罪の種類と関連させながら理解し、説明することができるようになる。 3 特に、最近の無差別殺人事件や通り魔殺人事件、あるいはストーカー殺人事件に象徴される現代型犯罪の原因・背景について、受講生自らの事例研究・発表を通し、犯罪心理学の観点から理解し、説明することができるようになる。 4 犯罪・非行にかかる刑事司法機関、処遇機関の役割・機能について理解し、説明することができるようになる。 5 犯罪の未然防止や犯罪者の更生・社会復帰の可能性について理解し、説明することができるようになる。 6 犯罪に関する諸科学、諸理論について理解し、説明することができるようになる。 7 犯罪や非行に関する職場に就職するための専門的知識を身に付けることができるようになる。 										
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	アサイメントとしては、講義前にはテキストの該当箇所を読み、講義後は知識の定着を図るため、再度、テキストやレジュメに目を通す。										
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 越智啓太著『Progress & Application 司法犯罪心理学』サイエンス社、2020。										
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. レポートや論文の書き方に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。 2. 分かりやすい表現方法や明瞭かつ論理的な文章を作成する力がついたか。 <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。]</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業への積極的参加</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>2 期末試験</td> <td>総合点の40%</td> </tr> <tr> <td>3 課題レポート</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>4 日常の学習状況</td> <td>総合点の20%</td> </tr> </table>			1 授業への積極的参加	総合点の20%	2 期末試験	総合点の40%	3 課題レポート	総合点の20%	4 日常の学習状況	総合点の20%
1 授業への積極的参加	総合点の20%										
2 期末試験	総合点の40%										
3 課題レポート	総合点の20%										
4 日常の学習状況	総合点の20%										
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 常に新聞・テレビ・ネット・雑誌などマスメディアに関心を寄せ、社会事象である非行や犯罪問題について、その心理学的背景を考える習慣を身に付けるなど、積極的態で受講されたい。 2. 授業に集中すること。私語、携帯・スマホ、ゲーム、飲食、中抜け、居眠りなど授業の支障となる行為をするものは受講を遠慮願いたい。 										
13. オフィスアワー	初回授業において周知する。										
14. 授業展開及び授業内容											
講義日程	授業内容	学習課題									
第1回	オリエンテーションー犯罪とは何か、犯罪と刑罰の歴史、凶悪犯罪は増えているか	事前学習	各受講生1例ずつ最近印象に残った犯罪について調べる。								
		事後学習	犯罪心理学の対象についてまとめる。								
第2回	人はなぜ犯罪者になるのかー犯罪の生物学的原因論	事前学習	教科書の第1章 (p.1-22) を読む。								
		事後学習	講義の要点をまとめる。								
第3回	人はなぜ犯罪者になるのかー犯罪の心理学的原因論	事前学習	教科書の第2章 (p.23-44) を読む。								
		事後学習	講義の用意点をまとめる。								
第4回	人はなぜ犯罪者になるのかー犯罪の社会学的原因論	事前学習	教科書の第3章 (p.45-62) を読む。								
		事後学習	講義の要点をまとめる。								
第5回	犯罪の種類と犯罪の心理 (1) 暴力犯罪 (殺人)	事前学習	教科書の第4章 (p.63-86) を読む。								
		事後学習	講義の要点をまとめる。								
第6回	犯罪の種類と犯罪の心理 (2) 暴力犯罪 (傷害)	事前学習	教科書の第4章 (p.63-86) を読む。								
		事後学習	講義の要点をまとめる。								
第7回	犯罪の種類と犯罪の心理 (3) 性犯罪 (レイプ)	事前学習	教科書の第5章 (p.87-104) を読む。								
		事後学習	講義の要点をまとめる。								
第8回	犯罪の種類と犯罪の心理 (4) 性犯罪 (子供に対する性犯罪)	事前学習	教科書の第5章 (p.87-104) を読む。								
		事後学習	講義の要点をまとめる。								

第9回	犯罪の種類と犯罪の心理（5）DV、ストーキング	事前学習	教科書の第6章（p.105-128）を読む。
		事後学習	講義の要点をまとめる。
第10回	犯罪の種類と犯罪の心理（6）虐待	事前学習	教科書の第6章（p.105-128）を読む。
		事後学習	講義の要点をまとめる。
第11回	犯罪の種類と犯罪の心理（7）窃盗	事前学習	教科書の第7章（p.129-150）を読む。
		事後学習	講義の要点をまとめる。
第12回	犯罪の種類と犯罪の心理（8）強盗、放火	事前学習	教科書の第7章（p.129-150）を読む。
		事後学習	講義の要点をまとめる。
第13回	犯罪捜査	事前学習	教科書の第8章（p151-172）を読む。
		事後学習	講義の要点をまとめる。
第14回	防犯	事前学習	教科書の第10章（p.187-206）を読む。
		事後学習	講義の要点をまとめる。
第15回	犯罪者の処遇・社会復帰（矯正・保護）	事前学習	教科書の第11章（p.207-228）を読む。
		事後学習	講義の要点をまとめる。
期末試験			